

## 韓国・済州特別自治道ソフトテニス協会との友好親善交流会再開について

### 1. 経緯

2017年に兵庫県で開催された日本スポーツマスターズ兵庫大会に出場していた韓国チーム（済州島選抜チーム）との間で、両国間の友好親善とソフトテニスの相互交流の促進を目的として5年間の期間限定とする旨の「協約書」を締結した。

これまで、2018年8月の兵庫県選手団の派遣、同12月の済州島選手団の受入れを実施したが、2019年8月の兵庫県選手団の派遣直前に両国間の関係悪化により中止、その後、新型コロナウイルスの全世界への蔓延により休止状態が続いていた。

2025年11月に済州特別自治道ソフトテニス協会から、ソフトテニス交流の再開を希望しており、兵庫県に説明に伺いたい連絡を受けたので、同12月のふれあい大会当日に説明会を実施した。

### 2. 基本合意事項

①2027年は兵庫県選手団が済州島を訪問、2028年は済州特別自治道協会が兵庫県を訪問の2年間限定の交流とする。（訪問時期については、今後打合せ予定）

②経費関係として、兵庫県に負担をお願いするのは、2027年は、関西空港から済州島までの航空運賃のみ、2028年は、セレモニー（歓迎会）費用のみで、それ以外の経費については、済州特別自治道ソフトテニス協会が支援する。

③交流規模として、基本3泊4日とし、役員12名、小学生男女各3ペア、中学生男女各3ペア、一般（壮年）は男子3ペアの計42名とする。（行程・派遣者数については、今後打合せ予定）

### 3. 今後の予定

- ①兵庫県ソフトテニス連盟内に国際交流委員会（仮称）を設置する
- ②兵庫県及び各種団体等の国際派遣事業への助成金申請の調査等を行う
- ③委員会で2027年の訪問時期及び派遣者決定方法等を協議する
- ④通訳を介し、済州特別自治道協会と詳細の打合せを行う